

【事務事業調書】

事務事業名	生活習慣病予防事業			予算科目	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
				コード	001-04-01-02-0030107
担当部課	住民生活部 健康福祉課	担当	健康づくり担当	事業の分類	既存事業
		係長	田中圭子		

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	<p>H22 事後評価 特定健診受診者を対象に、特定保健指導該当者以外で、指導が必要と思われる人には、個別面接の他運動と栄養の集団指導を行いました。実際運動を体験することで、家庭でも取り入れられると感じた人は多かったが、継続して来年の結果が良くなるかどうかは鍵とされます。教室参加後、毎月の運動教室や栄養教室へ参加してくれる人もおり、生活習慣改善のためのきっかけ作りには役立っていると思われます。平成22年度の健康診査受診者の肥満の割合は23.3%で、やや増加傾向です。適正な体重管理が今後も課題と思われます。</p> <p>H24 事前評価 生活習慣病の予防として、運動習慣づくりと正しい食生活に重点をおき、健康教室・健康相談を実施します。健診受診後のプチ健康教室、毎月の運動教室、栄養教室を継続していきます。生活習慣の改善に取り組むきっかけは健康診査の受診が大きな役割を果たすので、住民課との連携で国保加入者への特定健診受診の勧奨、がん検診推進事業を活用した受診勧奨に努めていきます。また、「これならできそう」という身近なところから生活習慣を見直すきっかけとなるような広報活動を、様々な機会や媒体を通じて行なっていきます。</p>	<p>毎年健康診査を受診することで、体重の増加や血圧の上昇など、身体の変化を知ることができます。変化が現れたときに早期に対応することで、メタボリックシンドロームの予防となります。正しい食生活や定期的な運動で、高血圧や糖尿病、脳卒中を予防することができます。国民健康保険の生活習慣病における医療費の割合を抑えることができます。住民が自ら健康に生活するための知識を学び、毎日の生活に生かし実践することで、健やかに生き生きとした町民が増え、健康寿命が延びていきます。</p>
実績	/	

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
特定健診受診者の肥満の割合	22%	/	22年度実績は23.3%でした。

■事業費(計画)

【単位:千円】

細 節	金 額	積 算 根 拠
1 賃金	2,441	結果説明会時栄養士・保健師・歯科衛生士28回分 フッ素塗布事業看護師・歯科衛生士2回分 臨時常勤栄養士250日分
2 報償費	335	運動教室講師 運動指導士@7,000×36回 健康づくり推進委員
3 消耗品	671	栄養教室材料代 指導用パンフレット 参考図書 フッ素塗布材料 事務用品等
4 委託料	353	プチ健康教室時運動指導委託 @12,600×28回
5		
6		
7		
8		
	3,800	

■事業費(実績)

【単位:円】

細 節	金 額	特 記 事 項
1	/	/
2	/	/
3	/	/
4	/	/
5	/	/
6	/	/
7	/	/
8	/	/
	0	

■事業経費

		計 画 【千円】	実 績 【円】	特 記 事 項
予 算	当初予算額	3,800	/	
	補正予算額	/	/	
	流用額	/	/	
	予算現額	/	/	
決 算	決算額	/	/	
財 源	国庫支出金	/	/	健康増進事業補助金
	県支出金	788	/	
	地方債	/	/	
	受益者負担金	/	/	
	その他の特定財源	/	/	
	計	788	/	
	差引(一般財源)	3,012	/	